

学校コード F113310103206

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

拓殖大学 外国語学部 国際日本語学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人拓殖大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長補佐 ヒロセヤストシ 廣瀬安俊

電話番号 03-3947-7111

（夜間） 03-3947-7111

e-mail y1hirose@ofc.takushoku-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

外国語学部

＜国際日本語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人拓殖大学

(2) 大 学 名

拓殖大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒193-0985
東京都八王子市館町815番地1

〒112-8585
東京都文京区小日向三丁目4番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フ ク ダ カ ツ ユ キ) 福 田 勝 幸 (平成23年6月)	(フ リ ガ ナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(カ ワ ナ ア キ オ) 川 名 明 夫 (平成27年4月)	(ス ズ キ シ ョ ウ イ チ) 鈴 木 昭 一 (令和3年4月)	任期満了に伴う変更 (3)
学 部 長	(シ オ ザ キ サ ト シ) 塩 崎 智 (平成31年4月)		
学科長等	(コ ン ド ウ マ ス ミ) 近 藤 真 宣 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
外国語学部 国際日本語学科 学士（日本語）	文学関係	年 4	人 50	年次 人	人 200		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成3 0年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50人 (-) [20]	人 (-) []	50人 (-) [20]	人 (-) []	50人 (-) [20]	人 (-) []	0.90 倍	— 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	256 (-) [61]	— (-) [-]	271 (0) [86]	— (-) [-]	156 (0) [42]	— (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	247 (-) [59]	— (-) [-]	259 (0) [83]	— (-) [-]	143 (0) [40]	— (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	93 (-) [24]	— (-) [-]	118 (0) [31]	— (-) [-]	107 (0) [28]	— (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	48 (-) [19]	— (-) [-]	49 (0) [25]	— (-) [-]	38 (0) [24]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A					0.96		0.98		0.76				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	48 [19] (ー)	－ [ー] (ー)	49 [25] (ー)	－ [ー] (ー)	38 [24] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	48 [19] (ー)	－ [ー] (ー)	47 [22] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	46 [19] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			[ー] (ー)				[ー] (ー)		48 [19] (ー)		97 [44] (ー)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	48 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	97 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	人	他の教育機関への編入(1名)
			令和3年度	3 人	3 人	[除籍、経済的理由、兵役(各1人)]
令和4年度	131 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		4 人		4 人	3 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{97} = \boxed{4.12} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{131} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
副 専 攻 科 目 ／ 中 国 語	コミュニケーション中国語作文Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅱ	2後		1							1
	観光中国語Ⅰ	2前		2							1
	観光中国語Ⅱ	2後		2							1
	時事中国語Ⅰ	2前		2							1
	時事中国語Ⅱ	2後		2							1
	資格中国語Ⅰ	1後		2							1
	資格中国語Ⅱ	2前		2							1
	中国文学概論	2前		2							1
小計(15科目)		-	0	22	0	0	0	0	0	0	6
副 専 攻 科 目 ／ ス ペ イ ン 語	西語文化講座Ⅰ	1前		1							1
	西語文化講座Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語相互学習Ⅰ	1前		2							2
	スペイン語相互学習Ⅱ	1後		2							2
	スペイン語ワークショップⅠ	2前		2							1
	スペイン語ワークショップⅡ	2後		2							1
	映画スペイン語Ⅰ	2前		2							1
	映画スペイン語Ⅱ	2後		2							1
	日西語対照研究Ⅰ	2前		2							1
	日西語対照研究Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語文化概論Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語文化概論Ⅱ	2後		2							1
小計(12科目)		-	0	22	0	0	0	0	0	0	4
合計(225科目)		-	26	343	0	4	3	0	0	0	88
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から14単位、専門科目の必修科目から26単位、選択科目Ⅰから20単位、選択科目Ⅱから44単位、選択科目Ⅲから8単位、自由科目から14単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。なお、副専攻を選択する場合は、選択科目Ⅱの卒業所要単位が44単位から32単位に変更となり、副専攻科目12単位を修得すること。 [履修科目の登録の上限:44単位以下(年間)、ただし、各学期25単位を超えないこと]											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
副 専 攻 科 目 ／ 中 国 語	コミュニケーション中国語作文Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅱ	2後		1							1
	観光中国語Ⅰ	2前		2							1
	観光中国語Ⅱ	2後		2							1
	時事中国語Ⅰ	2前		2							1
	時事中国語Ⅱ	2後		2							1
	資格中国語Ⅰ	1後		2							1
	資格中国語Ⅱ	2前		2							1
	中国文学概論	2前		2							1
小計(15科目)		-	0	22	0	0	0	0	0	0	6
副 専 攻 科 目 ／ ス ペ イ ン 語	西語文化講座Ⅰ	1前		1							1
	西語文化講座Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語相互学習Ⅰ	1前		2							2
	スペイン語相互学習Ⅱ	1後		2							2
	スペイン語ワークショップⅠ	2前		2							1
	スペイン語ワークショップⅡ	2後		2							1
	映画スペイン語Ⅰ	2前		2							1
	映画スペイン語Ⅱ	2後		2							1
	日西語対照研究Ⅰ	2前		2							1
	日西語対照研究Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語文化概論Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語文化概論Ⅱ	2後		2							1
小計(12科目)		-	0	22	0	0	0	0	0	0	4
合計(225科目)		-	26	343	0	4	4	0	0	0	86
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から14単位、専門科目の必修科目から26単位、選択科目Ⅰから20単位、選択科目Ⅱから44単位、選択科目Ⅲから8単位、自由科目から14単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。なお、副専攻を選択する場合は、選択科目Ⅱの卒業所要単位が44単位から32単位に変更となり、副専攻科目12単位を修得すること。 [履修科目の登録の上限:44単位以下(年間)、ただし、各学期25単位を超えないこと]											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
副専攻科目／中国語	コミュニケーション中国語作文Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅱ	2後		1							1
	観光中国語Ⅰ	2前		2							1
	観光中国語Ⅱ	2後		2							1
	時事中国語Ⅰ	2前		2							1
	時事中国語Ⅱ	2後		2							1
	資格中国語Ⅰ	1後		2							1
	資格中国語Ⅱ	2前		2							1
副専攻科目／スペイン語	中国文学概論	2前		2							1
	小計(15科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	6
	西語文化講座Ⅰ	1前		1							1
	西語文化講座Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語相互学習Ⅰ	1前		2							2
	スペイン語相互学習Ⅱ	1後		2							2
	スペイン語ワークショップⅠ	2前		2							1
	スペイン語ワークショップⅡ	2後		2							1
	映画スペイン語Ⅰ	2前		2							1
	映画スペイン語Ⅱ	2後		2							1
	日西語対照研究Ⅰ	2前		2							1
合計(225科目)	日西語対照研究Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語文化概論Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語文化概論Ⅱ	2後		2							1
	小計(12科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	4
	合計(225科目)	-	26	343	0	6	3	0	0	0	85
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から14単位、専門科目の必修科目から26単位、選択科目Ⅰから20単位、選択科目Ⅱから44単位、選択科目Ⅲから8単位、自由科目から14単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。なお、副専攻を選択する場合は、選択科目Ⅱの卒業所要単位が44単位から32単位に変更となり、副専攻科目12単位を修得すること。 [履修科目の登録の上限:44単位以下(年間)、ただし、各学期25単位を超えないこと]											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
副専攻科目／中国語	コミュニケーション中国語作文Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語講読Ⅱ	2後		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅰ	2前		1							1
	ビジネス中国語会話Ⅱ	2後		1							1
	観光中国語Ⅰ	2前		2							1
	観光中国語Ⅱ	2後		2							1
	時事中国語Ⅰ	2前		2							1
	時事中国語Ⅱ	2後		2							1
	資格中国語Ⅰ	1後		2							1
	資格中国語Ⅱ	2前		2							1
副専攻科目／スペイン語	中国文学概論	2前		2							1
	小計(15科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	6
	西語文化講座Ⅰ	1前		1							1
	西語文化講座Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語相互学習Ⅰ	1前		2							2
	スペイン語相互学習Ⅱ	1後		2							2
	スペイン語ワークショップⅠ	2前		2							1
	スペイン語ワークショップⅡ	2後		2							1
	映画スペイン語Ⅰ	2前		2							1
	映画スペイン語Ⅱ	2後		2							1
	日西語対照研究Ⅰ	2前		2							1
合計(225科目)	日西語対照研究Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語文化概論Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語文化概論Ⅱ	2後		2							1
	小計(12科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	4
	合計(225科目)	-	26	343	0	6	4	0	0	0	85
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から14単位、専門科目の必修科目から26単位、選択科目Ⅰから20単位、選択科目Ⅱから44単位、選択科目Ⅲから8単位、自由科目から14単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。なお、副専攻を選択する場合は、選択科目Ⅱの卒業所要単位が44単位から32単位に変更となり、副専攻科目12単位を修得すること。 [履修科目の登録の上限:44単位以下(年間)、ただし、各学期25単位を超えないこと]											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育効果を高めるため「外国文学A（英語圏の文学）」の配当年次(学期)を「前」から「前・後」に変更。
- ・当初の予定通り令和3年度までは教授が担当（完成年度には准教授が担当）するため、「国際日本語論」の専任教員の配置を准教授「1」から教授「1」に変更。
- ・当初兼任講師が担当する予定であったが、当該講師を前倒して准教授として採用したため、「アカデミック日本語Ⅰ（留学生）」の専任教員の配置を准教授「0」から准教授「1」に変更。
- ・当初兼任講師が担当する予定であったが、当該講師を前倒して准教授として採用したため、「アカデミック日本語Ⅱ（留学生）」の専任教員の配置を准教授「1」から准教授「2」に変更。
- ・当初の予定通り令和3年度までは教授が担当（完成年度には准教授が担当）するため、「日本語教育教材論」の専任教員の配置を准教授「1」から教授「1」に変更。
- ・当初の予定通り令和3年度までは教授が担当（完成年度には准教授が担当）するため、「日本語・日本人論」の専任教員の配置を准教授「1」から教授「1」に変更。
- ・授業運営の都合により「情報スキルⅠ・Ⅱ」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・授業運営の都合により「職業能力基礎（SPI）言語」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・授業運営の都合により「職業能力基礎（SPI）非言語」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。

【令和3年度】

- ・授業運営の都合により「文章表現の基礎」の兼任・兼任教員を「2」から「3」に変更。
- ・授業運営の都合により「レポートの書き方」の兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・兼任講師を准教授として採用したため「教育日本語総合Ⅰ」「教育日本語総合Ⅱ」「ビジネス日本語総合Ⅰ」「ビジネス日本語総合Ⅱ」「異文化間理解」の専任教員の配置を准教授「0」から准教授「1」へ、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるため「異文化間コミュニケーション入門」の配当年次(学期)を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・授業運営の都合により「初級英語①Ⅰ」「初級英語①Ⅱ」の兼任・兼任教員を「4」から「3」に変更。
- ・授業運営の都合により「中級英語①Ⅰ」「中級英語①Ⅱ」の兼任・兼任教員を「4」から「3」に変更。
- ・授業運営の都合により「情報スキルⅠ」「情報スキルⅡ」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。

【令和4年度】

- ・授業運営の都合により、「講座「言語と文化」」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・授業運営の都合により、「レポートの書き方」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・退職により、「国際日本語論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・授業運営の都合により、「アカデミック日本語Ⅰ（留学生）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・授業運営の都合により、「アカデミック日本語Ⅱ（留学生）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業運営の都合により、「日本語コミュニケーションⅡB（留学生）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・退職により、「日本語教育教材論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・退職により、「日本語・日本人論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
10 科目	215 科目	0 科目	225 科目	10 科目 [0]	215 科目 [0]	0 科目 [0]	225 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{225} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	288,175.89 m ² 288,125.87 m²	0 m ²	0 m ²	288,175.89 m ² 288,125.87 m²		
	運動場用地	83,157.90 m ²	0 m ²	0 m ²	83,157.90 m ²		
	小 計	371,333.79 m ² 371,283.77 m²	0 m ²	0 m ²	371,333.79 m ² 371,283.77 m²		
	そ の 他	845,895.65 m ² 845,945.67 m²	0 m ²	0 m ²	845,895.65 m ² 845,945.67 m²		
	合 計	1,217,299.44 m ²	0 m ²	0 m ²	1,217,299.44 m ²		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	教室等への変更による (4)		
	105,999.94 m ² (106,062.10 m ²) (105,990.45 m²) (105,827.68 m²) (105,999.94 m²)	0 m ² (0m ²)	0 m ² (0m ²)	105,999.94 m ² (106,062.10 m ²) (105,990.45 m²) (105,827.68 m²) (105,999.94 m²)	教室及び事務室などの 変更による (3) 研究室を付置研究所 長室に変更等による(2)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	92 室	0 室	0 室	4 室 (補助職員 3 人)	8 室 (補助職員 2 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和4年4月に専任教員2名 を採用予定だったが、前倒し して令和2年4月採用したた め (2) 専任教員1名採用のため (3) 専任教員2名退職のため (4)	
	外国語学部 国際日本語学科			8 10 9 7 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	外国語学部 国際日本語学科	27,568〔12,792〕 27,245〔12,940〕 26,869〔12,552〕 (25,716〔12,218〕) (24,824〔11,938〕) (24,017〔11,604〕)	326〔179〕 387〔126〕 (326〔179〕) (387〔126〕)	8,475〔8,475〕 8,483〔8,483〕 (8,475〔8,475〕) (8,483〔8,483〕)	0 (0)	1,589 (1,597) (1,604) (1,591)	0 (0)
	計	27,568〔12,792〕 27,245〔12,940〕 26,869〔12,552〕 (25,716〔12,218〕) (24,824〔11,938〕) (24,017〔11,604〕)	326〔179〕 387〔126〕 (326〔179〕) (387〔126〕)	8,475〔8,475〕 8,483〔8,483〕 (8,475〔8,475〕) (8,483〔8,483〕)	0 (0)	1,589 (1,597) (1,604) (1,591)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	11,161.53 m ²	1,147		1,274,000			
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				教室等への変更による (4)	
	9,074.11m ² 9,125.80m² 9,272.24m²					教室及び事務室などの 変更による (3)	
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	千円	926千円	3,495千円
	共 同 研 究 費 等	14,000千円	14,000千円	設備購入費	千円	702千円	2,540千円
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,365千円	第2年次 1,161千円	第3年次 1,161千円	第4年次 1,161千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入等の事業活動収入を以て充当する。				
※図書購入費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	拓 殖 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
商学部	4	645	-	2,490	-	1.02	1.09				
経営学科	4	416	-	1,592	学士 (商学)	1.01	1.08	令和3年度	昭和24年度	東京都文京区小日向3丁目4番14号	定員変更 (36)
国際ビジネス学科	4	159	-	618	学士 (商学)	1.01	1.11	令和3年度	昭和24年度	同上	定員変更 (9)
会計学科	4	70	-	280	学士 (商学)	1.03	1.08		平成19年度	同上	
政経学部	4	703	-	2,766	-	0.98	1.06				
法律政治学科	4	230	-	920	学士 (法律政治学)	0.93	1.03		昭和24年度	同上	
経済学科	4	473	-	1,846	学士 (経済学)	1.01	1.07	令和3年度	昭和24年度	同上	定員変更 (23)
外国語学部	4	280	-	1,040	-	0.91	0.75				
英米語学科	4	130	-	490	学士 (英米語)	0.91	0.84	令和2年度	昭和52年度	東京都八王子市館町815番1号	定員変更 (30)
中国語学科	4	50	-	200	学士 (中国語)	0.92	0.72		昭和52年度	同上	
スペイン語学科	4	50	-	200	学士 (スペイン語)	0.88	0.56		昭和52年度	同上	
国際日本語学科	4	50	-	150		0.90	0.76		令和2年度	同上	令和2年度より開設
工学部	4	320	-	1,305	-	1.03	1.06				
機械システム工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	0.91	0.91		昭和62年度	同上	
電子システム工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.02	1.08		昭和62年度	同上	
情報工学科	4	105	-	345	学士 (工学)	1.15	1.19	令和4年度	昭和62年度	同上	定員変更 (25)
デザイン学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	1.02		昭和62年度	同上	
国際学部	4	350	-	1,350	-	0.92	0.90				
国際学科	4	350	-	1,350	学士 (国際開発)	0.92	0.90	令和2年度	平成19年度	同上	定員変更 (50)
大学全体	-	2,323	-	8,951	-	-	-	-	-	-	

大学 の 名 称	拓 殖 大 学 大 学 院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経済学研究科											
国際経済専攻											
（博士前期課程）	2	30	-	60	修士 (経済学)	0.81	0.46		昭和26年度	東京都文京区小日向3丁目4番14号	
（博士後期課程）	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.18	0.00		昭和45年度	同上	定員変更（△2）
商学研究科											
商学専攻											
（博士前期課程）	2	30	-	60	修士 (商学)	0.51	0.43		昭和26年度	同上	
（博士後期課程）	3	2	-	6	博士 (商学)	0.38	0.50		昭和45年度	同上	定員変更（△3）
工学研究科											
機械・電子システム工学専攻											
（博士前期課程）	2	18	-	36	修士 (工学)	0.87	1.11		平成26年度	東京都八王子市館町815番1号	
（博士後期課程）	3	2	-	6	博士 (工学)	0.25	0.50		平成28年度	同上	定員変更（△4）
情報・デザイン工学専攻											
（博士前期課程）	2	18	-	36	修士 (工学)	0.49	0.61		平成26年度	同上	
（博士後期課程）	3	2	-	6	博士 (工学)	0.29	0.00		平成28年度	同上	定員変更（△4）
言語教育研究科											
英語教育学専攻											
（博士前期課程）	2	8	-	16	修士 (言語教育学)	0.75	0.50		平成9年度	東京都文京区小日向3丁目4番14号	
日本語教育学専攻											
（博士前期課程）	2	8	-	16	修士 (言語教育学)	1.25	1.25		平成9年度	同上	
言語教育学専攻											
（博士後期課程）	3	5	-	15	博士 (言語教育学)	0.55	0.80		平成11年度	同上	
国際協力学研究科											
国際開発専攻											
（博士前期課程）	2	20	-	40	修士 (国際開発)	1.56	0.85		平成16年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	-	9	博士 (国際開発)	1.00	1.33		平成18年度	同上	
安全保障専攻											
（博士前期課程）	2	15	-	30	修士 (国際開発)	0.52	0.60		平成16年度	同上	
（博士後期課程）	3	2	-	6	博士 (国際開発)	0.88	0.00		平成18年度	同上	
地方政治行政研究科											
地方政治行政専攻											
（博士前期課程）	2	15	-	30	修士 (政治行政)	0.50	0.60		平成21年度	同上	
大学院全体	-	181	-	381	-	-	-	-	-	-	

大学 の 名 称	拓 殖 大 学 北 海 道 短 期 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
農学ビジネス学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (農学)	倍	倍		平成26年度	北海道深川市深 川町メム4558番1	
保育学科	2	170	-	340	短期大学士 (保育学)	0.51	0.35		昭和55年度	同上	
短期大学全体	-	230	-	460	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年限 を超える専任教員数の 割合が比較的高いこと から、定年規程の趣旨 を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教 員組織編制の将来構想 について着実に実施す ること。	留意事項 ・本学科の完成年度である 令和5(2023)年度まで に、「定年規程」に規定す る定年齢を超える専任教員 は2人存在するが、「定年 規程」及び「教育職員の再 雇用制度に関する内規」に 基づき、当該教員に対して 再雇用の適用を決定してい る。ただし、当該教員2人 は令和3(2021)年度末を もって再雇用終了となるこ とから、後任者には、前任 者の内容と比較し、同等以 上の水準を確保するうえ で、優れた教育研究業績を 有する専任教員准教授2人 を令和2(2020)年度から 任用した。	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は
寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**
全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 国際日本語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・全学的な組織として、「FD委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD委員会：副学長、各学部長及び各学部長が推薦する各学部所属教員1名、各研究科委員長が推薦する各研究科所属教員1名、学務部長、学務課長、八王子学務課長及び学長事務室長で構成し年5回程度開催している。

c 委員会の審議事項等

- ・FD委員会の職務：
 - ・本学の全ての教員の教育能力・資質の改善・向上を図ること。
 - ・授業内容・方法等の改善を図ること。
 - ・厳正かつ適正な成績評価を実施すること。
 - ・その他、以上の目的を達成するために必要なこと。

② 実施状況

a 実施内容

- ・教職協働ワークショップ
- ・FDワークショップ
- ・新任教員研修会

b 実施方法

- ・教職協働ワークショップ：今後さらに教職員における相互理解や大学の目標・方針の共有化を図ることで、教職協働により大学全体としての総合力を発揮し、教育研究活動の適切かつ効果的な運用を推進することを目的として、「教職協働ワークショップ」を恒常的に開催している。
- ・FDワークショップ：全ての教員の教育能力・資質の改善・向上を図ること、授業の内容及び方法の改善を図ること、教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化を図ることなどを目的として、専任教員を対象に学部全体、大学院全体、各学部等の「FDワークショップ」を恒常的に開催している。
- ・新任教員研修会：新任の専任教員を対象に、本学での教育・研究活動を行う上で必要とされる心構え、教育理念・方針などを理解してもらうことを目的として、年度ごとに「新任教員研修会」を開催している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教職協働ワークショップ：令和3年度は、「第3期認証評価を受けての「教育ルネサンス2030」及び大学の内部質保証の方向性」をテーマとして開催し、88%の教職員の出席を得ている。
- ・FDワークショップ：令和3年度は、学部全体において「多様で魅力的な授業展開の在り方」を、大学院全体において「105分授業への対応」を、外国語学部において「これからの日本語教育—外国語教師に求められるもの—」をテーマとして開催し、それぞれ93%、92%、81%の専任教員の出席を得ている。
- ・新任教員研修会：令和3年度は、教学方針、教学における取組等をテーマとして開催し、全ての新任教員が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FDワークショップ：学部全体、大学院全体の当日のアンケートでは、「大変参考になった」又は「参考になった」の回答が、学部全体95%、大学院全体92%にのぼっている。FDワークショップでテーマとなった問題

点・課題については、次年度以降における授業改善に役立てられている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・「授業改善のための学生アンケート」は、教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ることを目的として、学部授業科目を対象に実施している。令和3年度は、Webによる同アンケートシステムを構築し12月6日から12月11日の間に実施。参加率は、専任教員100%、非常勤の講師84%となっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・「授業改善のための学生アンケート実施報告書」は、全体集計第Ⅰ部、科目別集計第Ⅱ部によりまとめ、第Ⅰ部を本学ホームページを通して公表し、第Ⅱ部を学内イントラネットを通して開示している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

外国語学部国際日本語学科は、日本語についての知見をもとにした言語を通しての相互理解と発信する力、日本文化への洞察をもとにした社会的人間関係を構築し、発展させる力、そして、問題を発見し、思考するとともにコミュニケーションを通して解決する力を身につける。日本の言語、文化、社会への深い理解のうえに、優れた発信型の語学力と異文化コミュニケーション能力を有し、また、グローバルな視野と教養、実践力を身につけた、国内外の幅広い分野で活躍できる人材を育てることを目的として設置した。

本学科における5月1日現在の収容定員(150人)に対する在籍者数(131人)の比率は、87.3%であるとともに、教育課程及び教育組織等も、概ね計画どおり実施をしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和4年3月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開 <https://www.takushoku-u.ac.jp/summary/evaluation.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に評価機関(公益財団法人 大学基準協会)による第3期認証評価を受審。次回の第4期認証評価の受審は、7年後の令和10年度を予定している。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。